

事務局からの報告事項（メモ）

1 こだいら環境フェスティバルについて

日 時：平成27年9月12日（土）午後10時～午後2時
ふれあい下水道館のみ午後3時まで

場 所：中央公園、市民総合体育館、ふれあい下水道館

来場者：約6,000名（内、ふれあい下水道館1,615名）

事業内容：フリーマーケット27店参加、ステージ8団体、出店ブース40店

回収実績：陶磁食器約790kg、小型家電約32.5kg、未利用食品約9kg

2 （仮称）小平市リサイクルセンター整備基本計画策定に伴うワークショップについて

(1) 第2回 ワークショップ

日 時：平成27年8月29日（土）午後2時～午後4時

場 所：中央公民館

参加者：13名

議 題：敷地の利用について、建築デザインについて、環境学習機能について

3 9月議会報告（一般質問）

(1) 幸田 昌之議員

質問 「市が目指す循環型社会をさらに進めるために」

- 1 食物資源循環モデル事業についての評価と課題、今後の取組について
- 2 陶磁器製の食器のリサイクル事業についての評価と課題、今後の取組について
- 3 小型家電リサイクル事業についての評価と課題、今後の取組について
- 4 リサイクルキャラバンについての評価と課題、今後の取組について
- 5 市内で発生した剪定枝はどのように処分されているか、また今後の課題について

答弁

1 食物資源循環モデル事業についての評価と課題、今後の取組でございますが、本事業は、生ごみを食物資源として分別収集し、堆肥化することで資源としての循環を図ることができるほか、市民の皆様の ごみの減量や リサイクルの意識改革につながるものと考えております。

本年度は、9月現在で、すでに目標の900世帯の参加を達成し、参加世帯、及び回収量も着実に増えており、参加者のおおむね9割の方から、参加してよかったとの感想をいただくなど、本事業の趣旨をご理解いただき、ごみの減量につながっているものと評価しております。

課題といたしましては、分別収集と堆肥化をするための経費がかかることや、現在、安定的に堆肥化できる搬入先事業者が1社のみであり、処理能力等の理由から、搬入できる量にも一定の限りがあり、今後、事業を大きく広げる場合には、新たな事業者を開拓する必要があることなどが挙げられます。

今後の取組でございますが、来年度には、1千世帯の参加を目標として、引き続き、規模を拡大していくとともに、平成29年度以降の事業の継続や拡大等の在り方につきまして検討してまいります。

2 陶磁器製の食器のリサイクル事業についての評価と課題、今後の取組でございますが、本事業は小平市ごみ減量推進実行委員会との共催で、これまで、燃えないごみとして処理していた陶磁器製食器をリサイクルするため、ごみゼロフリーマーケットや環境フェスティバル、リサイクルきゃらばんでの回収を行っております。

回収量も多いことから、ごみの減量と最終処分場の延命にもつながり、本事業に対する市民の皆様の ご理解とご協力が得られているものと評価しております。

課題といたしましては、リサイクルできる陶磁器製食器は、現在、搬入先の基準に合致する食器に限られていることから、リサイクルできない物の持ち込みも多くあり、回収後の選別作業の手間がかかることや、搬入先の業者が岐阜県と遠方であることから、運搬経費が

かかることなどが挙げられます。

今後の取組でございますが、さらなるごみの減量のため、引き続き、イベント等の取組を継続していくとともに、現在、リサイクルできない物に対しましても、新たなリサイクルの方法を検討してまいります。

- 3 小型家電リサイクル事業についての評価と課題、今後の取組でございますが、平成25年度から陶磁器製食器と同様に、イベントやリサイクルきゃらばんによる回収を始めたほか、これまでに市内施設9か所に設置した回収ボックスによる回収を行っております。

また、国から認定を受けた民間事業者と連携し、市を通さずに、直接、宅配便を利用する回収も市民の皆様にご案内しております。これにより、回収量はおおむね順調に増えてきており、貴重な資源の有効利用とともに、ごみの減量と最終処分場の延命につながり、本事業に対する市民の皆様のご理解とご協力が得られ始めているものと評価しております。

課題でございますが、小型家電として、回収可能なものが、燃えないごみとして出されることも多いことから、市民の皆様へのさらなるご理解とご協力を求めていくことが挙げられます。

今後も、市民の皆様が様々な排出方法を選択することにより、回収量を伸ばしていくことができるよう、引き続きPRに努めてまいります。

- 4 リサイクルきゃらばんについての評価と課題でございますが、リサイクルきゃらばんは、東部公園、リサイクルセンター、清掃事務所の市内3会場で、年4回実施しており、陶磁器製食器、小型家電の回収に加え、本年1月から、東多摩再資源化事業協同組合にご参加いただき、牛乳パック、育児用品などの雑貨類、3月から廃食油、未利用食品を回収品目に追加し、事業の充実を図っております。これにより、ごみの減量と最終処分場の延命につながっていることと、毎回、多くの市民の皆様のご参加により、リサイクルきゃらばんの取組が定着してきていることなど、本事業に対する市民の皆様のご理解とご協力が得られているものと評価しております。

課題といたしましては、回収できない物の持込みが多くあるため、それを減らすことや、リサイクルきゃらばんの会場を増やすことなどが挙げられます。

今後も、小平市ごみ減量推進実行委員会のご協力いただきながら、市民の皆様のご理解とご協力を得られるよう、PRに努め、ごみの減量に努めてまいります。

- 5 剪定枝の処分と活用でございますが、これまで、ごみの減量と資源としての有効活用を図るために、破碎処理を行い、公園の土壌整備や農家に引き渡し、堆肥化資材として活用しておりましたが、東日本大震災以降は、腐葉土、剪定枝堆肥の新たな生産・出荷等について自粛の要請が出されており、現在はリサイクルセンター西側広場に保管しております。

現在、その有効な活用が課題となっており、今後、新たに発生する剪定枝を含め、安定的で、継続的な活用ができる仕組みの構築と、堆肥化資材以外の手法を検討してまいります。

4 その他

- (1) 第13回「えんとつフェスティバル2015」について

日 時：平成27年10月10日（土）午前10時～午後3時

場 所：小平・村山・大和衛生組合

事業内容：

「つなげよう資源の輪、広げよう地域の和」をテーマに、フリーマーケット、清掃工場ミニツアー、ステージの演奏、模擬店など

主 管：えんとつフェスティバル実行委員会

主 催：連絡協議会、小平・村山・大和衛生組合

- (2) リサイクルきゃらばんについて

日 時：平成27年11月5日（木） 午後1時30分～午後3時30分

場 所：東部公園

事業内容：陶磁器製食器、小型家電、廃食油、未利用食品、牛乳パック、雑貨類の回収